

316)

おもかげばし
面影橋

面影橋の向こう岸には	過去の世界が広がっている
若かったころ口笛吹いて	渡ったように越えてみようか
橋を渡って過去へ行くには	何故か勇気が少し足りない
数え切れない季節はめぐり	いくさいげつ 幾歳月が過ぎているから
面影橋の橋を渡って	過去の世界に浸ってみようか
あの若き日に還れるものなら	今すぐにでも渡ってみたい
あの娘と過ごした六畳一間	いまはどんなに変わってるだろう
昔の日々は二度とかえらず	昔の人もういない
面影橋を涙流して	渡ったあの日雪が降ってた
あの娘と別れ荷物まとめて	田舎に帰る3月だった
卒業式にもいちど逢って	やり直そうと誘ったけれど
彼女の心かわらなかった	そして今日まで歳月は流れた
面影橋は僕の青春	面影橋は僕の思い出
苦しいときも哀しいときも	僕の人生見つめてくれた
人と出逢って人と別れて	酒に溺れて今日まで生きて
あの娘とふたり手を取り合って	渡った橋を一人で渡る
面影橋は出逢い橋です	面影橋は別れ橋です
面影橋の向こう側には	青春の日が眠っています
面影橋は涙橋です	面影橋は悲恋橋です
面影橋の向こう側には	思い出の日が眠っています